



このコーナーでは、九州一安心安全なまちづくりを目指す小林市で活躍する人やその活動など、協働のまちづくりに関する情報を提供します。



地域医療
地域医療は住民の協力が必要
ワークショップで意見交換



井階さんは「住民が協力し地域のニーズにあった医療にすることが大切」と話していました

12月14日、市立病院で「地域医療を考える会」が「地域医療を守り・育てるワークショップ」を開きました。市民や医療関係者ら約30人が参加。「住民、行政、医療者の協働による理想の地域医療」を追求する福井県高浜町国保和田診療所の井階友貴さんら5人を講師に招き、小林市の課題や必要とされる取り組みについて意見を交わしました。ワークショップの内容は、健康・地域医療都市宣言づくりに生かされます。



市民防災リーダー
災害時の伝言ダイヤル学ぶ
市民防災リーダー講習会

市民防災リーダーの知識や技術の向上を目指すステップアップ講習会が、12月1日、中央公民館で開催されました。市民防災リーダーの認定を受けた市民57人が参加し、災害用伝言ダイヤル「171」の体験学習や災害図上訓練で地域の避難路や危険箇所を確認しました。災害伝言ダイヤル「171」は、電話につながりにくくなる災害時に使えるN T Tのサービス。自分の伝言を残したり、家族が残した伝言を聞くことができます。



市民防災リーダー養成講座は毎年開催。次回は3月9日（日曜）に開催を予定しています



シネマ倶楽部スバル座からのお知らせ

1月26日（日曜）文化会館で上映 映画「僕のうしろに道はできる～奇跡が奇跡でなくなる日に向かって～」



シネマ倶楽部スバル座は、映画館のない小林市で映画の上映会を開催する自主上映グループです。今回は、ドキュメンタリー映画「僕のうしろに道はできる～奇跡が奇跡でなくなる日に向かって～」を文化会館で上映します。この映画は脳幹出血で倒れ、一生植物状態と思われた宮田さんのリハビリ生活を追った記録映画。仲間の深い愛情と懸命なりハビリによって劇的に回復していき、人を想う気持ちが新しい

常識を作っていく物語です。また、上映前後ロビーでは「米盛大翔さん絵画展」、「ふれあい市」も開催します。【上映情報】▼上映日：1月26日（日曜）▼時間：14時30分～16時▼会場：文化会館小ホール▼日本語字幕：あり▼託児：あり（要予約）▼料金：前売り1000円／当日1200円（小中高生：前売り500円／当日700円）

シネマ倶楽部スバル座 隈本
Tel 090-1165-1943

協働により「九州一安心安全なまち 小林市」を目指して



も応援。

こばやし協働

Info & News

インフォ アンド ニュース



このイラストは、小林高校2年生海蔵楓寧さんが（当時・永久津中3年生）小林市の活性化を願い作成したものです。市の自然（花、星、水、虫）がモチーフになっています。



消費生活
巧妙な手口から地域を守ろう
悪徳商法の対処法学ぶ集い



エコワールドきりしまでは、この事業の一環で、団体などを対象に出前講座などを行う予定です

悪徳商法の現状と対策について学ぶ「悪徳商法被害ゼロを目指す市民の集い」が、11月29日、文化会館で開催されました。県の事業採択を受けたNPO法人エコワールドきりしまが主催し、区長や民生委員など約100人が参加。小林警察署、宮崎県消費生活センターや市役所職員らが事例や対策などを紹介しました。同消費生活センターの宇土智子さんは「怪しいと感じたら、はっきりと断ってほしい」と呼びかけました。



P T A活動
登校中の見守りなど評価
紙屋小P T A文部科学大臣賞

日本PTA協議会の創立65周年記念式典が11月19日に開催され、紙屋小学校PTAが文部科学大臣表彰を受賞しました。地域と保護者が一体となった特色あるPTA活動を行っていることと、各家庭で規則正しい生活習慣を整え、児童に毎朝歩いて集団登校をさせている取り組みが評価されました。紙屋小PTAの宮下鶴美会長は「本校の



PTA活動は、伝統と絆を大切に子どもの健全育成のために努力しています。この賞を励みに、今後もさらに充実を図りながら発展・継続させていきたい」と喜びを語りました。

紙屋小PTAの宮下会長。紙屋小は平成18年から学校と地域が一体となったPTA活動を推進しています